

富士見地区人口	
男	11,231人
女	11,247人
計	22,478人
世帯数	9,044世帯
(令和3年2月末日現在)	

編集・発行 / 前橋市富士見公民館 〒371-0114 前橋市富士見町田島866-1 TEL 027-288-6111 FAX 027-288-7401

親子の絆づくりプログラム(BP) ～赤ちゃんがきた!～(ベビープログラム)

0歳児を初めて子育てしている母親のための仲間・きずな学びのプログラムです。(4回連続講座)
安全で安心できる雰囲気の中で、自分の育児の喜びや困りごと、親として迷いなどを話し合いながら、
これからの子育てに必要な知識を学ぶ、参加型のプログラムです。

日時: 5月12日・19日・26日・6月2日 水曜日 午前10時～12時

会場: 富士見公民館 2階 第3研修室(和室)

対象: 第一子(令和2年11月13日～令和3年3月12日生まれ)とその母親

定員: 親子6組(先着順)

講師: 前橋市子育て支援課 BPファシリテーター

受講料: 1,026円(テキスト代)

申込み: 4月7日(水) 8時30分～南橋・芳賀・富士見公民館のいずれかに電話

南橋公民館 ☎231-2376 芳賀公民館 ☎269-6724

持ち物: 着替え一組・オムツ2～3枚・おしりふき・ビニール袋・ガーゼハンカチやハンドタオル

バスタオルなどの大きめのタオル1枚・お茶・お気に入りのおもちゃ・母子健康手帳

粉ミルク・お湯・哺乳瓶(必要な人)

※母親はマスクを着用してください。

※新型コロナウイルス感染症予防のため講座を中止する場合があります。



～富士見かるた紹介～ 第10回テーマ「赤城山の昔」

独自に設定したキーワードをもとに、富士見かるたを昨年7月号から紹介しています。

新型コロナウイルスの終息と、東京オリンピックの開会という、明るい世の中になっていることを願って、本年の7月号まで連載します。



眠る赤城も昔は火山

赤城山は休火山であり、大沼は火山口原湖、小沼は火山口湖です。黒檜、駒ヶ岳、荒山、鎌柄峠等が外輪山であり、地蔵岳は中央火山口。富士見町は赤城火山が噴出した火山灰地帯です。



山の伝説小沼の主

小沼には、赤堀道玄の娘が投身して大蛇となり沼の主になったという伝説が残されています。そのためか、小沼は神秘的な雰囲気を感じさせます。

もう一つの赤城山の見方

赤城山には、六道の辻、姥子峠、地獄谷、三途の川、地藏岳、血の池、賽の河原、ガキボッタなど地獄に関わる地名があることをご存じですか。

赤城山に「霊魂が宿る山」という信仰があったことは、富士見地区ではあまり知られていません。黒保根や東地区では、人が亡くなると霊魂が赤城山に赴くと考えられていました。

こういう視点から赤城山を眺めると、また新たな見方ができるものと思います。(富士見郷土研究会 会報 第72号より)

館報ふじみは自治会の皆さまのご協力により配付しています。

児童が作成した人権標語(令和2年度)



- その言葉 自分に向けて 言えますか
(原小学校 4年 中島 心晴)
- 大切に 自分と相手の そんざいを
(原小学校 4年 中野 太智)
- ありがとう 言葉で広がる 笑顔の輪
(原小学校 5年 小暮 真那)
- あと一言 勇気のカ フリしほれ
(原小学校 5年 山口 けい)
- どうしたの その一言が だれかのヒーロー
(原小学校 5年 森村 恭一郎)
- ありがとう みんなよろこぶ いい言葉
(原小学校 6年 中島 愛桜)
- 傷つけない 人はみんな 守るもの
(原小学校 6年 黛 由結)
- 心の傷 あなたといると なおってる
(原小学校 6年 土屋 れもん)
- おちこむと たすけてくれる おともだち
(石井小学校 1年 大つか あおい)
- やさしさの こえをかけよう だいじょうぶ?
(石井小学校 2年 いつき あお人)
- 友だちと なかよくえ顔で あそぼうね
(石井小学校 3年 高山 紗羽)
- 障がい者 みんな同じ 人間だ
(石井小学校 4年 樺澤 茉咲)
- みんなでね 共に笑おう 仲よくね
(石井小学校 5年 樺澤 遼)
- どの人も 心と命は 宝物
(石井小学校 6年 下田 歩)



富士見公民館からのお知らせ

- 現在ロビーでは絵画クラブと赤城書の友会による作品展が行われています。また、児童・生徒が作成した人権標語も掲示してありますので、ぜひ、ご覧ください。
- 今月より富士見公民館報は毎月1日発行となります。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止していた富士見公民館の部屋貸出し利用を3月9日(火)より再開しています。ガイドラインを遵守してのご利用をお願いします。

市立図書館富士見分館だより

所在：富士見町田島240 電話288-6112
(休館日：4月5日、12日、19日、26日)

☆新刊案内☆

《一般書》



- 猫沼 笙野 頼子 著
 - ハヤブサの血統 鷹匠 裕 著
 - 幕間のモノローグ 長岡 弘樹 著
 - ヴィクトリアン・ホテル 下村 敦史 著
 - 麦本三歩の好きなもの 第2集 住野 よる 著
- 《児童書》
- アニメコミックおしりたんてい 6
映画おしりたんていテントウムシいせきのなぞ
 - モンスターホテルでおばけやしき 柏葉 幸子 作
 - はらすきー あきやま ただし 作・絵
 - パンダどうぶつえん おおの こうへい さく・え

～今だからこそ知っておきたい偉人～

羽鳥 又男(はとり またお)

コロナ禍により公衆衛生への関心が高まった令和2年6月の館報に、台湾で伝染病撲滅に尽力した、富士見ゆかりの偉人、羽鳥重郎の紹介記事を掲載しました。

今回は、そのつながりで、台湾の行政や文化遺産の復興などに貢献した富士見ゆかりの偉人を紹介します。

羽鳥又男は、明治25年、石井に生まれ、石井小の教員を勤めましたが、父の借金のため一家はバラバラとなり、親戚の羽鳥重郎を頼って台湾に渡ります。

台湾総督府に勤務し、誠実な仕事を総督に認められ、台南市の市長となります。台南市は古都ですが、長年修理が行われていない文化財もあり、人々は心を痛めていました。又男は、それら危機に瀕した文化財の保存・修復に努めました。募金を呼びかけたり、総督に直訴するなどしました。溶解炉に投げ込まれる直前に待ったをかけ、溶かされずにすんだ台湾で最も古い鐘もありました。敗戦により、日本人が台湾から引き揚げる仕事をしていた時、スパイの疑いで逮捕されていますが、釈放運動が起こり、そのおかげで無事に釈放されました。

昭和22年に帰国。国際基督教大学の建設や、ハンセン病患者を救う活動などに功績を残し、昭和50年に亡くなりました。国際基督教大学では学園葬が行われ、石井小の教え子たちがバス1台に乗ってかけつけ、又男の逝去を悼んだといいます。



市長室の羽鳥又男